

平成 29 年 9 月 1 日

各 位

株式会社 北洋銀行

ダイレクトメールによる傷害保険のご案内について

北洋銀行では、平成 29 年 8 月 30 日(水)よりダイレクトメールによる傷害保険(チューリッヒ保険)のご案内を開始いたしました。

ダイレクトメールに同封されております申込書をご返送いただくことで、交通事故による死亡補償または入院一時金補償を一定期間無料(当行が保険料を負担)で受けることができます。

また、ご希望のお客さまは、月々少額の保険料で死亡、入院・手術など手厚く補償する追加プランもご用意しております。

当行では、多様化するお客さまの資産運用ニーズへの的確に対応するとともに、利便性を高め、今後ともお客さまの期待に応えるベストパートナーとして、一層のサービス向上に努めてまいります。

以 上

《保険商品お申込みに際してのご注意》

【取扱保険商品に係る共通の注意点】

- 保険商品は、保険会社が引き受ける生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度は適用されません。
- 保険商品は、契約初期費用、保険関係費用、資産運用関係費用、解約控除、為替手数料(外貨建て保険)などの手数料がかかる場合があります。ただし、ご負担いただく手数料の名目、手数料率、計算方法等は商品により異なりますので、一律の算出方法の記載はできません。詳しくは、各商品のパンフレット・契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)・ご契約のしおり(約款)等をご覧ください。
- 北洋銀行は、お客さまと引受保険会社との保険契約締結の媒介を行います。保険契約の引受や保険金等の支払いは、引受保険会社が行います。
- 保険商品によっては、解約返戻金が、当初払込保険料を下回ることがあります。
- 保険商品に関するお客さまと当行とのお取引が、当行におけるお客さまに関する他のお取引に影響を及ぼすことは、一切ありません。
- 各種保険商品は、法令の規制により、お客さまのお勤め先や当行への融資のお申し込み状況等によりお申し込みいただけない場合があります。
- 商品によっては、被保険者に健康状態などについて告知していただく必要があります。また、被保険者の健康状態などによりご契約いただけない場合等があります。なお、北洋銀行の担当者(生命保険募集人)には告知受領権がありませんので、担当者に口頭でお話されても告知をいただいたことにはなりません。
- 保険会社による保険金や給付金等のお支払いについて、受取人の故意による場合や健康状態についてお客さまが事実を告知されなかった場合、事実と異なることを告知された場合等、保険金や給付金が支払われない場合があります。
- 北洋銀行でお取り扱いしている商品はすべてクーリング・オフの対象となります。
- 引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構の保護措置の対象になりますが、この場合にも将来の年金額、死亡保険金額、払戻金額等が削減されることがあります。
- 保険商品によっては、保険契約を有効に継続させるために、払込方法に応じた期日までに継続的に保険料を払い込んでいただく必要があります。保険料の払い込みが遅れて、一定期間が経過すると保険契約は失効します。保険契約が失効した場合には、契約の効力がなくなり、保険金等が受け取れなくなりますので、ご注意願います。
- 保険金・給付金等のお支払事由が生じた場合は、ただちに保険会社または北洋銀行までご連絡ください。保険金・給付金等をお支払いできる場合、お支払いできない場合につきましては、各商品のパンフレット・契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)・ご契約のしおり(約款)等でご確認ください。
- 募集代理店である北洋銀行では、保険募集を行った保険契約に関して、お客さまからのお問い合わせ・各種請求手続き方法のご照会などを対応いたします。なお、内容によっては、募集代理店からの連絡を受けた引受保険会社および共同募集代理店が対応させていただく場合があります。
- 詳しい内容は、生命保険募集代理店である北洋銀行の販売資格を持った担当者(生命保険募集人)にご相談ください。

【特定保険商品に係るリスクについて】

〈変額保険・変額年金保険〉

この保険は国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額などの増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約返戻金額は既払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。

〈外貨建て保険〉

この保険は為替レートの変動により、お受取になる円換算後の保険金額がご契約時における円換算後の保険金額を下回ることや、お受取になる円換算後の保険金額が、既払込保険料を下回ることがあり、損失を生ずるおそれがあります。

〈MVA(市場価格調整)を利用した商品〉

この保険は市場金利に応じた運用資産の価格変動が解約返戻金に反映されるため、市場金利の変動により解約返戻金が既払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。具体的には、中途解約時の市場金利がご契約時と比較して上昇した場合には、解約返戻金は減少し、逆に下落した場合には増加することがあります。